

**暫定議題**  
**第9回生態学的関連種作業部会会合**  
**2012年3月27-30日**  
**日本、東京**

1. 開会

1.1 議題の採択

1.2 文書リストの採択

会合文書の採択において、メンバー及び協力的非加盟国 (CNM) は、それぞれの会合文書を具体的な議題項目に割り当てるよう要請される。

1.3 ラポルツアーの任命

メンバーは、議題項目5及び6のラポルツアーを指名するよう要請される。また、会合報告書に盛り込むため、文書の説明者は、自身が説明した文書（年次報告書を除く）に関して、簡潔な1パラグラフを提供するよう要請される。

2. 年次報告書

メンバー及びCNMは、合意されたフォーマットを利用してERSWGへの年次報告書を用意し提出することとなっている（別紙）。年次報告書には、サメ及び海鳥に関するIPOAの実施状況について記載しなければならない。メンバーは、会合前に当該報告書を読んでいるものとみなされ、この議題項目は、報告書の内容を明確にするための質問時間に当てることとしている。

2.1 メンバー

2.2 協力的非加盟国

3. 関連する国際的な制度のレビュー

3.1 関連する国際的な制度の実施状況のレビュー

この議題項目は、サメ及び海鳥に関するIOPA（これらは、年次報告の要件の一部である）以外の国際的な制度の検討のためのものである。メンバー及びCNMは、他の関連する国際的な制度（漁業操業における海亀の死亡を減少させるためのFAOガイドライン等）の実施状況に関する情報を年次報告書又は別の文書において記載するよう要請されている。

3.2 他のベストプラクティスガイドラインに関するレビュー及び勧告

(例: FAO, ACAP).

4. ERS 作業部会に関連する他の機関の会合の報告書

4.1 まぐろ類RFMO合同混獲技術作業部会による勧告

議長は、Kobe3と一緒に開催されたまぐろ類RFMO合同混獲技術会合作業部会の2011年会合の報告書を紹介し、その後、JT BWGの結果及び将来の活動に対するCCSBTとしての対応方法について議論する。

4.2 地域漁業管理機関/取決め/NGO

CCSBT ERSWG への長期的なオブザーバーの地位を有する全ての機関

([http://www.ccsbt.org/site/observers\\_attendance.php](http://www.ccsbt.org/site/observers_attendance.php)?参照) は、会合に参加し及び報告書を紹介するよう勧められる。

## 5. ERSに関する情報及び助言

これは、*SBT 漁業によって生じている ERS へのリスクの評価、及びそのリスクの緩和に必要となるかもしれない追加的な措置の特定について、これらを進展させるための重要な議題項目である。以下の小議題項目に関連して、メンバー及びCNM は、これらの評価を支援するべく、自身が提供可能なあらゆる情報（空間・季節リスクの評価に関連する情報を含むオブザーバーデータ、また関連する場合には、非 SBT 対象漁業からのデータを含む）を検討するよう要請される。また、メンバー及びCNM は、以下の議題項目に関する文書を会合前に作成し提出することも要請されている。*

### 5.1 海鳥

#### 5.1.1 資源状況に関する情報

#### 5.1.2 他の関連する漁業からの情報

#### 5.1.3 生態学的リスク評価

#### 5.1.4 ERS 死亡量の推定値及び不確実性の推定値を改善するための将来の分析

#### 5.1.5 緩和措置に関する研究及び優先課題の更新

*緩和措置に関する最近の試行結果を報告し、また、緩和措置に関する現行の及び計画中の研究（加重縄を含む）の更新情報を紹介する。*

### 5.2 サメ

#### 5.2.1 資源状況に関する情報

#### 5.2.2 他の関連する漁業からの情報

#### 5.2.3 生態学的リスク評価

#### 5.2.4 ERS 死亡量の推定値及び不確実性の推定値を改善するための将来の分析

#### 5.2.5 緩和措置に関する研究及び優先課題の更新

*緩和措置に関する最近の試行結果を報告し、また、緩和措置に関する現行の及び計画中の研究の更新情報を紹介する。*

### 5.3 その他のERS

#### 5.3.1 資源状況に関する情報

#### 5.3.2 他の関連する漁業からの情報

#### 5.3.3 生態学的リスク評価

#### 5.3.4 ERS 死亡量の推定値及び不確実性の推定値を改善するための将来の分析

#### 5.3.5 緩和措置に関する研究及び優先課題の更新

*緩和措置に関する最近の試行結果を報告し、また、緩和措置に関する現行の及び計画中の研究の更新情報を紹介する。*

### 5.4 SBT資源の状況に影響を与え得る捕食種及び餌料種

## 6. CCSBT 戦略計画中の又は CCSBT から要請されている ERS 活動

### 6.1 ERS に関するデータ提出要件

*必要な ERS データ及びその情報源について検討し、年次 ERS データ交換に含めるデータを勧告する。*

#### 6.1.1 オブザーバーデータ

#### 6.1.2 データ交換

## 6.2 CCSBT遵守委員会のためのERS相互作用報告用テンプレート

メンバーによる遵守委員会 (CC) 及び拡大委員会 (EC) へのERS関連事項の報告の向上を支援するべく、CCはERSWGに対して遵守報告用テンプレートをレビューするよう要請した。事務局は、CC及びECに対する現行の報告要件の詳細情報を提供する。

## 6.3 海域別 RFMO へのデータ提供に関する勧告

みなみまぐろを対象とする漁業の生態学的関連種への影響を緩和するための勧告 (CCSBT によって合意済み) は、メンバーが ERS データを収集及び報告すること、並びに CCSBT 事務局に対しては関連する海域別 RFMO の事務局との間で ERS の関連データを収集及び交換する権限を付与していることを規定している。この議題項目において、メンバーは、他の RFMO がそれぞれの管轄水域における ERS の総捕獲量 (SBT 漁業における混獲を含む) を評価するのを支援するために、CCSBT がこれらの事務局に対して提供可能なデータについて議論することとなる。

## 6.4 他の RFMO が採択した緩和措置の評価

SBT を対象とした漁業によるリスク緩和に関して、海域別 RFMO によって採択された ERS 措置の効果を評価し、SBT 漁業の特徴を念頭に置きつつ、同漁業において追加的な又は異なる措置 (加重縄等) が必要となるかどうかについて助言する。

### 6.4.1 生態学的関連種に関する 2008 年の勧告に基づきメンバー/CNM が実施することとされている海鳥緩和措置のレビュー

特に、この会合では、関連する IOTC 及び WCPFC 決議の緩和措置の表 1 におけるオプション

([http://www.ccsbt.org/userfiles/file/other\\_rfmo\\_measures/iotc/Resolution%2010-06.pdf](http://www.ccsbt.org/userfiles/file/other_rfmo_measures/iotc/Resolution%2010-06.pdf) 及び [http://www.ccsbt.org/userfiles/file/other\\_rfmo\\_measures/wcpfc/CMM-2007-04 Mitigation of the Impact of Fishing on Seabirds.pdf](http://www.ccsbt.org/userfiles/file/other_rfmo_measures/wcpfc/CMM-2007-04 Mitigation of the Impact of Fishing on Seabirds.pdf) をそれぞれ参照) をレビューすることとなる。

### 6.4.2 SBT 漁業における追加的又は別の措置の必要性の検討

上記議題項目での議論に基づいて検討する。

## 7. 普及啓発活動

メンバーによって実施されている普及啓発活動は議題項目 2 に含まれるため、ここでそれらを議論する必要はない。この議題項目では、緩和及び又は ERS に関連するデータ収集を強化するための CCSBT によって実施されるべき新規の活動について議論することを目的としている。

### 7.1 更新版 CCSBT ERS パンフレットの最終化

CCSBT の海鳥及びサメパンフレットについては、休会期間中に作業が実施された。当該パンフレットの修正部分は既に合意されており、更新版のパンフレットは、2011 年末までには CCSBT のウェブサイトに掲示されることとなっている。ただし、休会期間中に全ての修正提案を解決することは困難であり、ここでは、未解決事項を議論することとなる。事務局は、休会期間中の作業における未解決事項を明記した文書を提供することとしている。

## 8. 将来の作業計画

## 9. その他の事項

## 10. 拡大委員会への勧告及び助言

SBT 漁業による ERS へのリスク及びかかるリスクの緩和方法に関する勧告。

## 11. 結論

11.1. 会合報告書の採択

11.2. 次回会合の時期についての勧告

11.3. 閉会

## **Template for the Annual Report to the Ecologically Related Species Working Group (ERSWG)**

*(From the ERSWG 7 meeting. Changes since then are footnoted below.)*

1. Introduction
  - General comments on fishing methods by which southern bluefin tuna is caught in party fisheries (by fleet, area, and time).
  - General comments on type and magnitude of ERS caught by fishery/method.
2. Review of SBT Fisheries
  - Fleet size and distribution (brief summary of trends)
  - Distribution of Catch and Effort (Summary of catch and effort by area and fleet)
3. Fisheries Monitoring for Each Fleet
  - Summary of recent observer coverage of SBT fisheries fleets and summary of data collection activities of observers.
  - Summary of data collection activities from non observed activities.
4. Seabird
  - Summary of cpue and total numbers of seabird incidentally caught by area and fleet and list of numbers of each seabird species observed caught<sup>1</sup>.
  - Summary of seabird capture from non observed sources<sup>1</sup>.
5. Other Non-target Fish
  - Summary of cpue and total numbers of shark and the predominant non-target fish species by area and fleet<sup>1</sup>.
6. Marine Mammal and Marine Reptile
  - Summary of total numbers of marine mammal and marine reptile incidentally caught<sup>1</sup>.
7. Mitigation Measures to Minimise Seabird and Other Species Bycatch

*Current Measures*

  - Mandatory Measures for Each Fleet
    - Description of each measure
    - Compliance Monitoring System (i.e. how is compliance measured)
    - Level of Compliance for each measure
  - Voluntary Measures for Each Fleet
    - Description of each measure
    - Proportion of fleet using each measure and how this proportion was determined

*Measures under Development/Testing*

  - Description of each measure being developed and tested
  - Lead agency undertaking research
  - Description of any collaboration
  - Results to date
  - Planned development/testing for next year
  - Expected completion date and report to ERSWG

---

<sup>1</sup> In addition, ERSWG 8 recommended (and CCSBT 16 endorsed) that Members and Cooperating Non-Members should include the information shown in Attachment 4 of the ERSWG 8 report, in future national reports to the ERSWG and including both interaction with ERS and mortalities of ERS. This information should also be provided by species (including the scientific name) wherever possible in either the national report or other reports submitted to the ERSWG.

## 8. Public Relations and Education Activities

### *Public Relations Activities*

- media releases
- information booklets, posters, other written material
- video
- public presentations
  - trade shows
  - forums, conference
  - school/university group

### *Education*

- crew training, especially ship masters
- trainee fishers
- engineers
- managers
- observers

### *Information Exchange*

- research
- educational materials
- other regional fisheries organisations
- international organisations
- non-member states and entities
- review of new ideas obtained from crew debriefings or ship fishing reports

## 9. Information on other ERS (non-bycatch) such as prey and predator species

## 10. Others

- Information obtained concerning ERS related fishing activities of non-party fleets.

## 11. Implementation of the IPOA-Seabirds and IPOA-Sharks

- A description of activities undertaken for the implementation of NPOAs as they relate to SBT fisheries. The emphasis should be on updates and recent activities.

*Also note that CCSBT 9 specified that Members should provide a summary of papers submitted to the ERSWG meeting in their national report (see paragraph 89 of the CCSBT 9 report).*